

NSC定例勉強会 2022.12.6

企業で人権デューデリジェンスをどう進めるか



花王における「人権の尊重」の取組み



花王株式会社
ESG活動推進部
大鹿 正人



第11回（2021年） “いっしょにeco”地球大賞

「人と動物、そして自然と友情」
Liang-En Yuさん（8歳）

当日投影のみのスライドもありますのでご了承ください

- 花王のご紹介
- 花王の人権取組みの考え方
- 取組み内容について
社員／サプライヤー／生活者

- **花王のご紹介**
- 花王の人権取組みの考え方
- 取組み内容について
社員／サプライヤー／生活者

商号	花王株式会社（Kao Corporation）
本店所在地	東京都中央区日本橋茅場町 一丁目14番10号
創業	1887年6月（明治20年）
設立	1940年5月（昭和15年）
売上高	1兆3,820億円（連結）
営業利益	1,756億円（連結）
資本金	854億円
従業員数	33,409名（連結）

2020年12月31日現在



花王 本社
（日本橋茅場町）

セグメント別の連結売上高構成比

ケミカル事業



油脂製品
機能材料製品
スペシャルティケミカルズ製品

アスファルト特殊改質剤



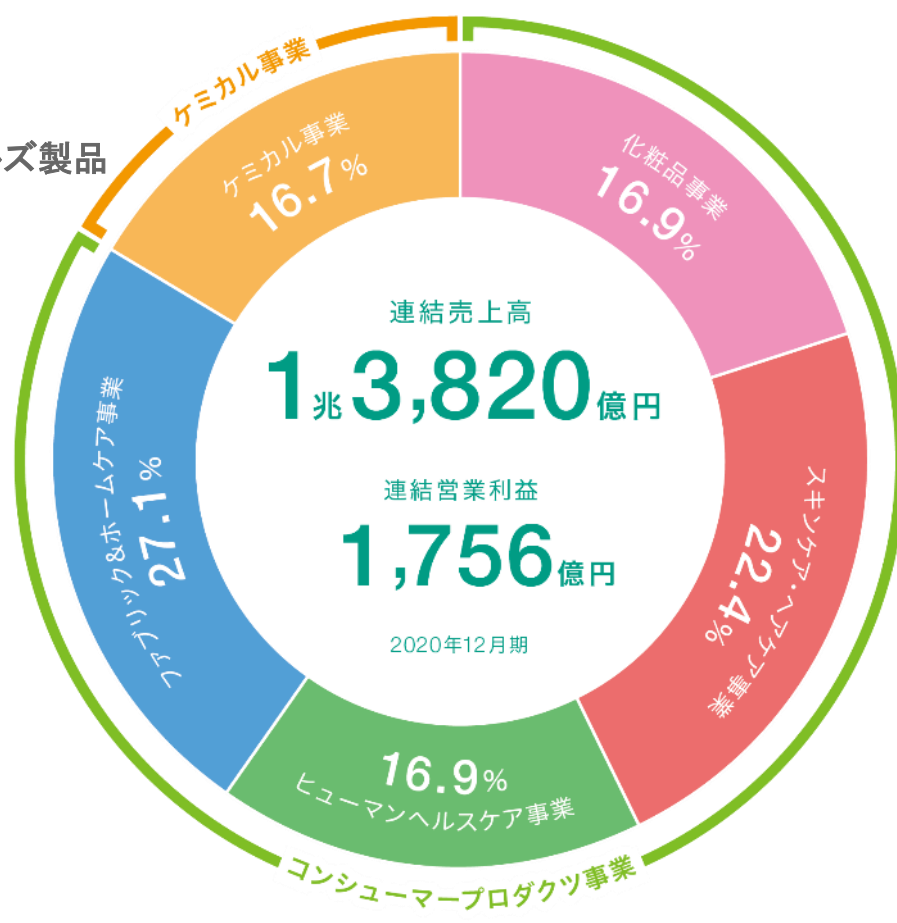
水性インクジェット用顔料インク

ファブリック＆ホームケア事業



ファブリックケア製品
ホームケア製品

**B to B から B to C まで
広く取り扱うメーカーです**



グラフの売上高構成比は、外部顧客に対する売上高で算出しています。
ケミカル事業の売上高には、セグメント間の内部売上を含みます。
※事業区分は2020年時点のものです。

化粧品事業



化粧品

スキンケア・ヘアケア事業



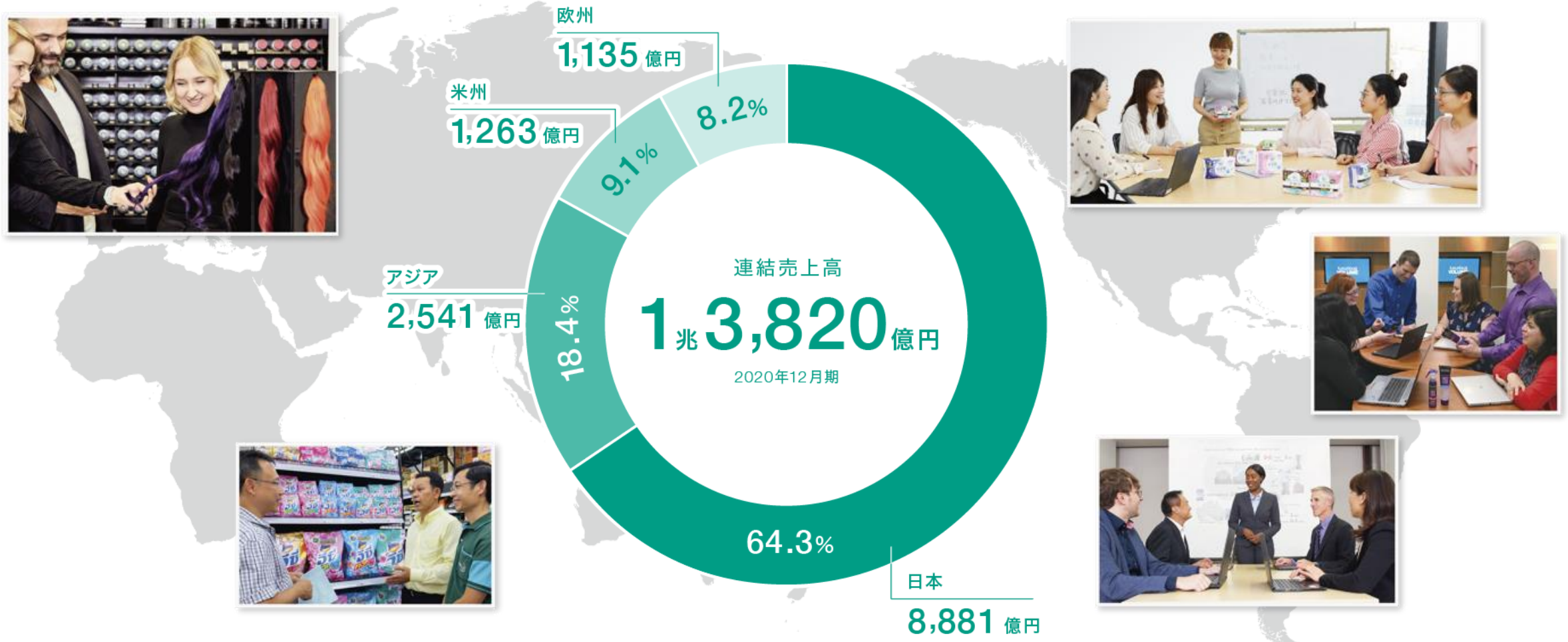
スキンケア製品
ヘアケア製品

ヒューマンヘルスケア事業



フード&ビバレッジ製品
サニタリー製品
パーソナルヘルス製品

世界中の皆さまへ
想いを込めた製品やサービスを提供しています。





花王の ESGビジョン

KAO

2019年4月

MY KIREI LIFESTYLE

Kirei Lifestyleとは、こころ豊かに暮らすこと。

Kirei Lifestyle とは、すべてにおもいやりが満ちていること。

自分自身の暮らしが清潔で満ち足りているだけでなく、
周りの世界もまたそうであることを大切にすること。

Kirei Lifestyleとは、こころ豊かな暮らしが、
今日だけではなく、これからも続くと安心できること。

日々の暮らしの中で、たとえ小さなことでも、
正しい選択をして、自分らしく生きるために。

花王はこうしたKirei Lifestyleが何よりも大切だと考えています。

だからこそ、決して妥協をせず、正しい道を歩んでいきます。

世界中の人々のこころ豊かな暮らしのために、
私たちは革新と創造に挑み続けます。

<https://www.youtube.com/watch?v=nYbK9QjS-Pg&t=2s>

Kirei Lifestyle Plan –花王のESG戦略– 102-16

花王のESGビジョン

Kirei Lifestyleとは、こころ豊かに暮らすこと。

Kirei Lifestyleとは、すべてにおもいやりが満ちていること。

自分自身の暮らしが清潔で満ち足りているだけでなく、

周りの世界もまたそうであることを大切にすること。

Kirei Lifestyleとは、こころ豊かな暮らしが、

今日だけではなく、これからも続くことと安心できること。

日々の暮らしの中で、たとえ小さなことでも、

正しい選択をして、自分らしく生きるために。

花王はこうしたKirei Lifestyle が

何よりも大切だと考えています。

だからこそ、決して妥協をせず、

正しい道を歩んでいきます。

世界中の人々のこころ豊かな暮らしのために、

私たちは革新と創造に挑み続けます。

Me

快適な暮らしを
自分らしく
送るために



2030年までに

世界中の人々の、まずは10億人をめざして、
よりこころ豊かな暮らしに貢献します。
より清潔で、健康に、安心して年齢を重ね、
自分らしく生きられるように。

We

思いやりの
ある選択を
社会のために



2030年までに

より活力と思いやりのある社会の実現のために、
すべての花王ブランドが、
小さくても意味のある選択を
生活者ができるように提案をします。

Planet

よりすこやかな
地球のために



2030年までに

すべての花王製品が、
全ライフサイクルにおいて、
科学的に地球が許容できる範囲内の
環境フットプリントとなるようにします。

花王の ESGコミットメントと アクション

2030年 花王のコミットメント

花王のアクション



快適な暮らしを
自分らしく
送るために

2030年までに
世界中の人々の、
まずは10億人をめざして、
よりこころ豊かな暮らしに貢献します。
より清潔で、健康に、安心して年齢を重ね、
自分らしく生きられるように。



QOLの向上



清潔で美しく
すこやかな習慣



ユニバーサル
プロダクト
デザイン



より安全で
より健康な
製品

思いやりの
ある選択を
社会のために

2030年までに
より活力と思いやりのある
社会の実現のために、
すべての花王ブランドが、
小さくても意味のある選択を
生活者ができるように提案をします。



サステナブルな
ライフスタイルの
推進



パーバ
ス
ドリブンな
ブランド



暮らしを変える
製品イノベーション



責任ある
原材料調達

よりすこやかな
地球のために

2030年までに
すべての花王製品が、
全ライフサイクルにおいて、
科学的に地球が許容できる範囲内の
環境フットプリントとなるようにします。



脱炭素



ごみゼロ



水保全



大気および
水質汚染防止

実効性のある
コーポレート
ガバナンス

徹底した
透明性

人権の尊重

受容性と多様性の
ある職場

社員の
健康増進と
安全

人財開発

責任ある
化学物質管理

正道を歩む

花王では、企業活動全体において、人権侵害をゼロにし、
図らずも問題が起きた場合に速やかに問題解決することをめざします

- 花王のご紹介
- 花王の人権取組みの考え方
- 取組み内容について
社員／サプライヤー／生活者

使命
豊かな共生世界の実現

ビジョン
人をよく理解し
期待の先いく企業に

基本となる価値観
正道を歩む
よきモノづくり
絶えざる革新

行動原則
共生視点
現場起点
個の尊重と力の結集
果敢に挑む



KAO BUSINESS CONDUCT GUIDELINES

Kao's Code of Conduct
Revised April 2018



花王人権方針

花王はグループ（以下、花王）は、その使命を「人をよく理解し、期待の先いく企業に」を掲げ、世界の人の暮らしの向上と豊かな社会の実現を推進するとともに、社会の持続可能性の向上に貢献することと花王の理念に基いて、また、さまざまなステークホルダーとの関係的な関わりを通じてこの使命を果たしていくことを花王の経営方針として定めています。

この方針を踏まえ、花王は、「よきモノづくり」の理念に基づき、すべての人が安心して生活できる社会の実現を推進することを目指しています。

Kao Human Rights Policy

The Kao Policy states that the mission of the Kao Group (hereinafter, "Kao") is to ensure the environmental sustainability and enrichment of the lives of people globally and to contribute to the sustainability of the world, with products and brands of sustainable value.

Kao is committed to fulfilling its responsibility to respect human rights, which are the fundamental rights of all human beings, in all of its corporate activities.

1. Compliance with applicable laws and norms

We support and respect the universal norms of human rights, including the International Bill of Human Rights, which states the basic human rights to be enjoyed by all people in the world, the International Labour Organization's Declaration on Fundamental Principles and Rights at Work, which states the core labor standards (freedom of association and the effective recognition of the right to collective bargaining, the elimination of all forms of forced or compulsory labor, the effective abolition of child labor, and the elimination of discrimination in respect of employment and occupation), and the principles of free, prior and informed consent of indigenous peoples as well as each country's national human rights instruments on business and human rights. The Kao Human Rights Policy is guided by the United Nations Guiding Principles on Business and Human Rights.

We comply with the laws applicable in each country and region in which we conduct our corporate activities.

When there is a conflict between internationally recognized human rights and the laws of a country or region, we seek ways to honor the principles of international human rights.

This Human Rights Policy applies to all officers and employees of the Kao Group (including Kao Corporation and its subsidiaries and affiliates), in cases where where requests are made by business partners, suppliers and other related parties are directly linked to our business, products or services, we require those business partners, suppliers and other related parties to respect human rights and not to violate them.

Copyright © Kao Corporation

「人権」は、国際人権宣言、世界人権宣言、国際労働機関（ILO）の「労働に関する基本原則」に基づき、尊重すべき権利と見做されています。

花王は、国際人権宣言、世界人権宣言、ILOの「労働に関する基本原則」に基づき、尊重すべき権利と見做されています。

花王は、国際人権宣言、世界人権宣言、ILOの「労働に関する基本原則」に基づき、尊重すべき権利と見做されています。

花王は、国際人権宣言、世界人権宣言、ILOの「労働に関する基本原則」に基づき、尊重すべき権利と見做されています。

花王では、企業活動全体において、人権侵害をゼロにし、
図らずも問題が起きた場合に速やかに問題解決することをめざします

使命

豊かな共生社会の実現

・私たちは、志をひとつに熱意をこめて、日々をより豊かにすることに邁進し、Kirei Lifestyle～すべての人と地球にとってより清潔で美しく健やかな暮らし方～を創造します。優れた価値を生み出す革新を通して喜びを分かち合い、全ての命にとって安心で調和のとれた世界を実現します。

基本となる価値観

正道を歩む

・私たちは、**すべての人に敬意、公平さ、共感をもって接し**、使命感を抱いて誠実に仕事に取り組みます。これにより、人として、志を共にする仲間が集う花王として、最も力を発揮することができます。

敬意、公平、共感、高い志

行動原則

個の尊重と力の結集

- ・私たちは、**すべての人を尊重**し、心を開いて接します。
- ・多様な文化、国籍、信念、人種、性別、アイデンティティ、能力を積極的に受け入れることで、事業も社会もより強く、素晴らしいものになります。私たちは、**すべての社員、ビジネスパートナー、そしてコミュニティを、ありのままに尊重**します。

ダイバーシティ&インクルージョン

使命

豊かな共生世界の実現

ビジョン

人をよく理解し
期待の先いく企業に

基本となる価値観

正道を歩む
よきモノづくり
絶えざる革新

行動原則

共生視点
現場起点
個の尊重と力の結集
果敢に挑む

THE Kao Way

MISSION Why we exist

As one, we create a Kirei life for all—
providing care and enrichment for
the life of all people and the planet

VISION Where we want to go

To be closest to the individual
and beyond their expectation

VALUES What we believe in

Integrity as the only choice
Yoki-Monozukuri in plan & action
Innovation for today & tomorrow

PRINCIPLES How we behave

We care for people & the planet
We think from the Genba
We trust, respect, & need each other
We act with courage

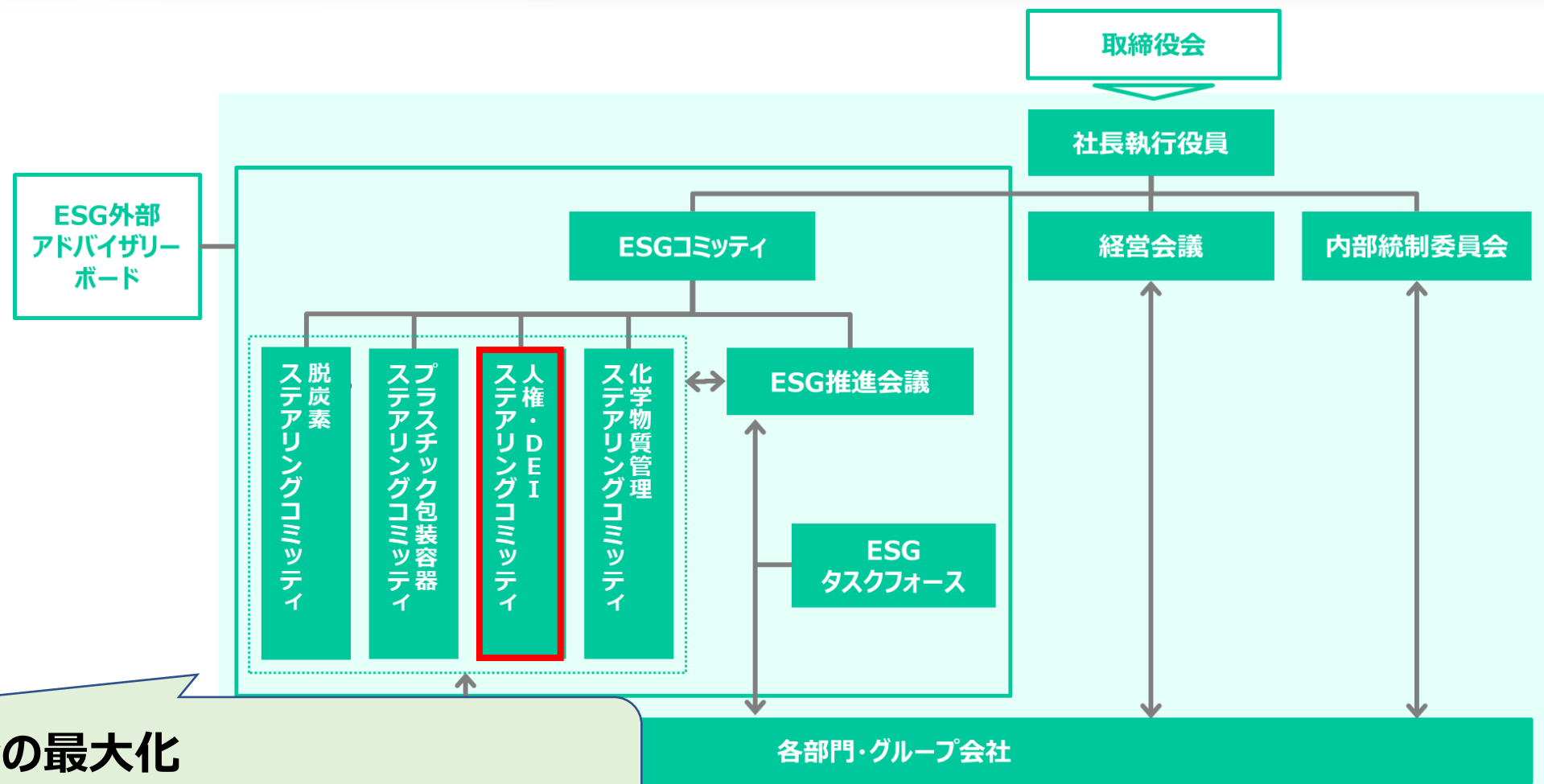
<https://www.kao.com/jp/corporate/about/our-story/kaoway/>

花王のESG戦略 Kirei Lifestyle Planの19のアクションの一つに 人権の尊重があり、リスクアセスメントはKPIになっています



KPI:

人権の尊重	人権デュー・ディリジェンス対応実施率(社内におけるリスクアセスメント)			100%	2030	2025 達成に 前倒し
	A / B × 100 (%)	・ A:アセスメントを実施した工場(カ所)および花王グループの会社数(社) ・ B:花王グループ全工場(カ所)および花王グループの全会社数(社)	・ 花王グループが保有する工場および事業所			
	人権デュー・ディリジェンス対応実施率(サプライヤーにおけるリスクアセスメント)			100%	2030	—
	A / B × 100 (%)	・ A:当該年より3年以内にアセスメントを実施したサプライヤー数(社) ・ B:当該年に取引のあったサプライヤー数(社)	・ 花王グループの直接材のサプライヤー			
	人権デュー・ディリジェンス対応実施率(委託先におけるリスクアセスメント)			100%	2030	—
	A / B × 100 (%)	・ A:当該年より3年以内にアセスメントを実施した委託先数(社) ・ B:当該年に委託した委託先数(社)	・ 花王グループが保有する事業場内の業務委託先			



機会の最大化
リスク・影響の最小化 の同時達成

ポイント : 人権尊重とDiversity , Equity & Inclusionを同時に考慮する

- 花王のご紹介
- 花王の人権取組みの考え方
- **取組み内容について**
社員／サプライヤー／生活者

花王人権方針

Confidential

Kao Corporation
Until 20501231

花王グループ（以下、花王）は、その使命を「心をこめた“よきモノづくり”を行ない、世界の人々の喜びと満足のある豊かな生活文化を実現するとともに、社会のサステナビリティ（持続可能性）に貢献すること」と花王ウェイに定めています。花王は、この使命を達成するために、人権を尊重する責任を果たすことを基本原則として、企業活動全体において人権を尊重する責任を果たします。

人権尊重に関連した法令や規範の遵守
花王は、世界のすべての人々が享受すべき基本的人権について規定した「国際人権章典」、労働における基本的人権（結社の自由及び団体交渉権、強制労働の禁止、児童労働の実効的な廃止、雇用及び職業における差別の排除）を規定した国際労働機関（ILO）の「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」、先住民族の権利に関する「自由意思による、事前の、十分な情報に基づいた同意」の原則等の、人権に関する国際規範、各国のビジネスと人権に関する国際行動計画（NAP）に基づいて策定しています。

花王は、企業活動を行なうそれぞれの国や地域で適用される法令を遵守

現代奴隷法、
指導原則、NAP

人権と各国や地域の法令の間に矛盾がある場合、
権の原則を尊重するための方法を追求します。

本方針は、花王グループ（花王株式会社および子会社、関連会社）のすべての従業員、サプライヤー、およびその他の関係者に対する人権への負の影響が、花王の事業活動を通じて生じ、または生じる可能性があるすべての人権（ビジネスと人権に関する国際行動計画（NAP）に基づいて策定しています）に基づいて策定しています。

この方針は花王グループすべての従業員・社員に適用し、ビジネスパートナーにも取り組みを要請する

企業活動全体を通じた人権尊重
花王は、人権を侵害しない、人権に対する負の影響を速やかに問題解決することを目指す。人権を侵害しないことを約束します。人権を侵害しないよう、また、企業活動上の人権に対する負の影響を軽減・防止し、また、花王 ビジネスガイドラインおよび各分野の方針やガイドラインで規定した取り組みを通して、人権尊重の取り組みを推進します。

社員、消費者・顧客、地域社会等の各ステークホルダーに対し配慮を行なう
社員は、安全で働きやすい職場環境を提供します。消費者・顧客は、使いやすい商品、サービスを提供しています。消費者・顧客との対話を通じて理解を深め、商品やサービス、コミュニケーションの改善に反映させます。

人権デュー・ディリジェンスを実施する
花王は、人権デュー・ディリジェンスの仕組みを通して、人権への負の影響を特定し、その防止、または軽減に取り組みます。

救済窓口を設置する
花王は、人権侵害の救済窓口を設置し、あるいはこれに関与したことが明らかになった場合、適切な手続きを通してその救済に取り組みます。

社員への教育、ステークホルダーとの対話、社会への報告など実施する
花王は、人権に対する潜在的および実際の影響に関する対応について、関連するステークホルダーと対話を行います。

取締役会の監督委員会による承認
花王は、人権尊重の取り組み及び人権デュー・ディリジェンスの実施状況について、取締役会が監督機能を有しているESG委員会において承認されています。

担当役員および社長による署名

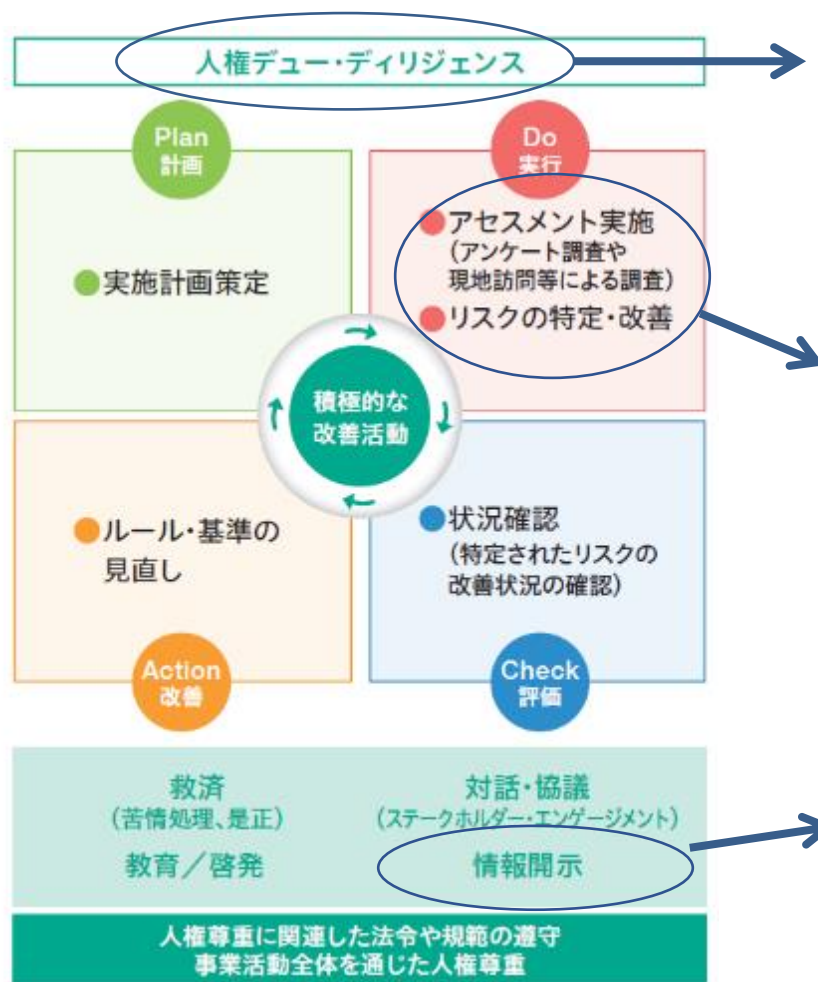
人権リスク調査
(Sedex)

グリーンスマリズム

プロGRESレポート、
奴隷法声明文

トップの
コミットメント

人権方針に則り、人権デュー・ディリジェンスを実施します。
労働環境・差別などの人権リスク調査を毎年行なっています。



- ・ 指導原則で実施が求められている
- ・ 英国法で義務化されている→ EU各国義務化の流れ
- ・ 花王人権方針で実施すると示している

- ・ 花王グループリスク調査 (Sedex、花王SAQ)
- ・ 社会的責任監査
- ・ 特定リスクに対する潜在リスク調査

- ・ KLPプログレスレポート
- ・ 現代奴隷法声明文
- ・ ウェブ

想定される人権リスク

人権侵害を受ける側
にとって
高リスクな項目

		研究開発	調達	生産	マーケティング	物流	販売	コーポレート (業務支援)
ステークホルダー	ともに働く人々(花王社員、協力会社社員、サプライヤー社員)	・強制労働 ・児童労働 ・劣悪な労働環境 ・結社の自由や団体交渉権の制限 ・不適切な賃金(未払い、低賃金) ・あらゆる差別(年齢、出身地、国籍、外国人・移民労働者、人種、性別、LGBT差別、障がい・病気、妊産婦)						
			・不衛生な会社提供住居 ・バーム農園における劣悪な労働環境・強制労働・児童労働	・不衛生な会社提供住居				・社員のプライバシー侵害 ・採用活動における差別
	ビジネスパートナー	・花王による優越的地位の乱用によりビジネスパートナーの労働環境が悪化						
	生活者・顧客	・商品設計上の事由による健康・安全への悪影響			・顧客のプライバシー侵害 ・不適切な広告・宣伝による未成年者・高齢者・女性への悪影響		・顧客のプライバシー侵害 ・説明による誤認 ・不適切なパッケージング・ラベル表示	
	地域社会		・工場等建設に伴う先住民族の文化・伝統・生活の侵害 ・工場等建設、運営に伴う生態系や地域社会へのダメージ(工場設置、水供給、排水・排ガス等による健康被害など含む)	・工場等建設に伴う先住民族の文化・伝統・生活の侵害 ・工場等建設、運営に伴う生態系や地域社会へのダメージ(工場設置、水供給、排水・排ガス等による健康被害など含む)		・輸送時の有害物質の漏洩による健康被害	・製品の誤使用による健康被害、生活への悪影響	・国際的に認められた人権を下回るような事業慣行

花王にとって
高リスクな項目

① 全体リスクアセスメント【面展開】

- ・自己評価（Sedex：花王グループ自社工場 & オフィス全拠点導入完了、サプライヤーには導入推進中、場内協力会社にも導入開始）

② 高リスクと懸念される対象へのリスクアセスメント【深掘り展開】

- ・パーム産業（SMILEプロジェクト）
- ・外国人労働者
 - 潜在リスク調査、対話推進、グリーバンスメカニズム導入など

花王人権方針に基づいて活動を推進

現在
集計中

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2021年活動実績

● 花王人権方針

人権リスク調査

●
花王グループ

●
サプライヤー

深刻な人権侵害リスクはゼロ
(全拠点 工場：41、オフィス：56)

モニタリングカバー率 購入金額89%
パーム油小規模農園支援SMILEプログラムでRSPO
研修会を開催、グリーンバンスメカニズム導入準備

広告等表現
(人権視点)

●
チェック体制

●
委託先 国内外の各工場拠点の
場内協力会社リスクアセスメント開始

広告等への関係者意識啓発継続

研修

イントラを通じた意識啓発
BCG確認テスト(日本)
人種差別・ハラスメントへの理解を深める活動(欧米)
新入社員・新任マネージャー研修など

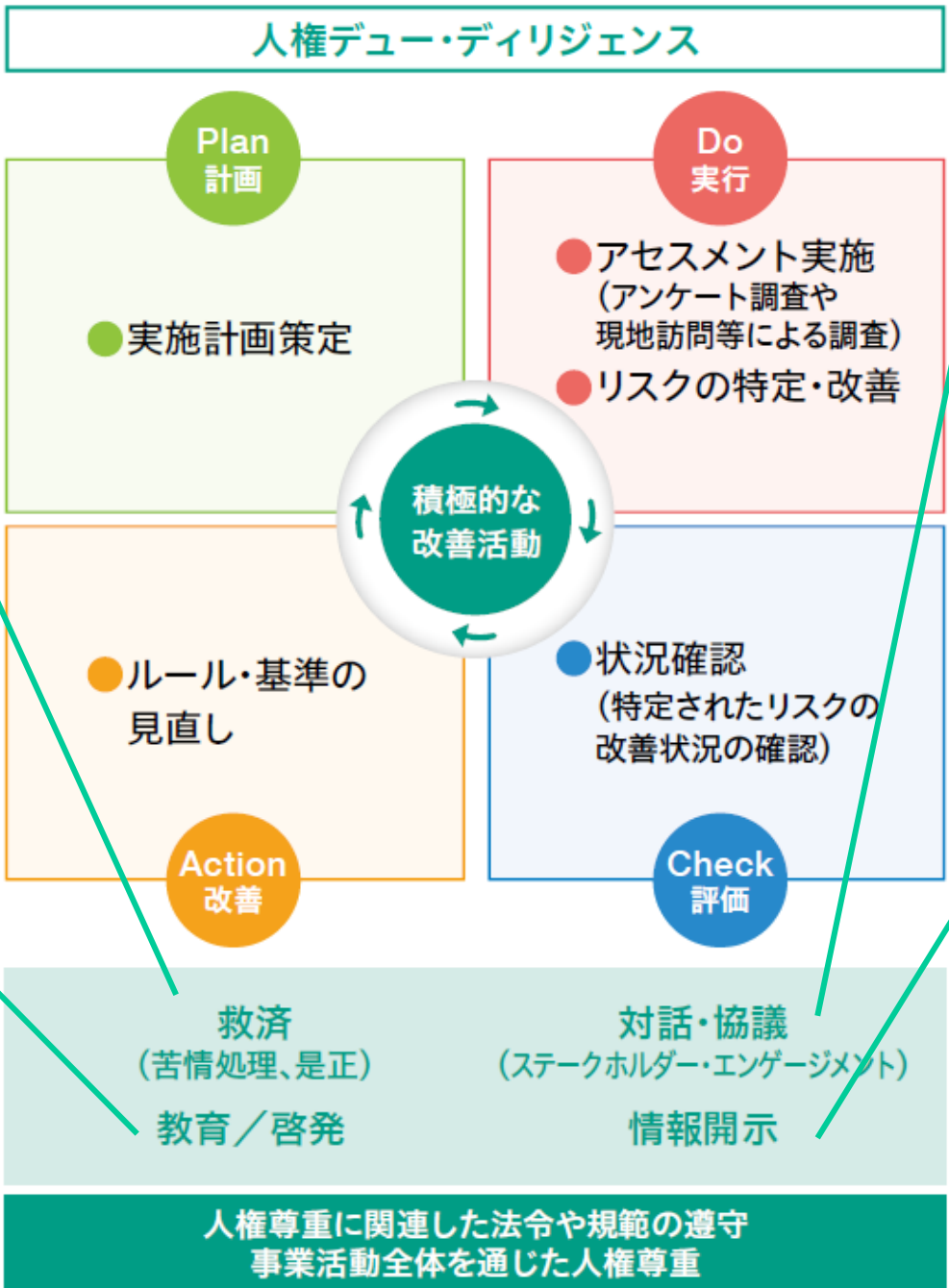
花王サステナビリティレポート
英国現代奴隷法声明文

●
WEBで公表

毎年公表

20

人権方針に示した取り組みの全体像



【救済】

- ・社員/お客様
- ・サプライヤー
- ・場内委託先
- グリーバンスメカニズ導入

【教育/啓発】

- ・全社員向け
ビデオ、メッセージ、D&I
- ・対象者限定
e-ラーニング、講演会、勉強会など
- ・取引先向け人権啓発



【対話/協議】

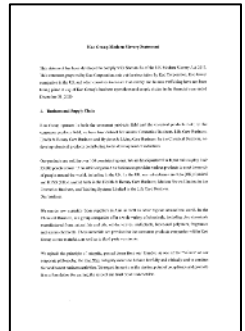
- ・ハイリスク特定と対象ライツホルダーとの直接対話
- ・ベンダーサミット：サプライヤーとのパートナーシップ強化
- ・活動実績に対する評価
- ・国内/海外有識者とのダイアログ



外国人労働者との直接対話

【情報開示】

- ・プログレスレポート
- ・現代奴隷法声明文
- ・各種渉外対応



1. バリューチェーン上での展開の難しさ

- ・ パートナーの理解と同意を得るためにも、自社の方針を明確に
- ・ 限られた資材(費用、人財)、人権 이슈の特定、展開の優先順位も重要(面展開と深掘り)
- ・ 個社で取り組む限界(例: グリーバンスメカニズム導入など)

2. 人権尊重の理解・浸透の難しさ

- ・ 自社経営者の理解、社内関係者の理解(総論賛成—各論で時間がかかる)
- ・ 従業員(周りの従業員)の理解／浸透 → 心理的安全性、アンコンシャス・バイアス
- ・ ビジネスパートナーの経営者／管理者とその従業員の理解 → 脆弱なライツホルダー把握につなげる
- * 外国人労働者: 言語・文化の壁／法律の壁／日常生活の壁など
- ・ 市民社会、非営利団体との前向きで良好な関係構築

3. 人権侵害は、個社の問題でなく、社会システムが生み出している部分も大きい (国の義務、企業の責任、そして市民社会)

- ・ 法制度と実態の乖離の是正(例えば、外国人技能実習制度など) → アドボカシー
- ・ 情報の分断をなくす、ステークホルダーがガバナンス、ステークホルダーとの連携など
- ・ 市民社会(作る責任、使う責任) → エシカル消費の浸透
- * 人権尊重があたりまえの社会 → インクルーシブ社会へ、互いが尊重し合えるウェルビーイング社会へ
- * 人権課題の解決手段は、もっとクリエイティブに考える(Maximum with Minimum の実現へ)

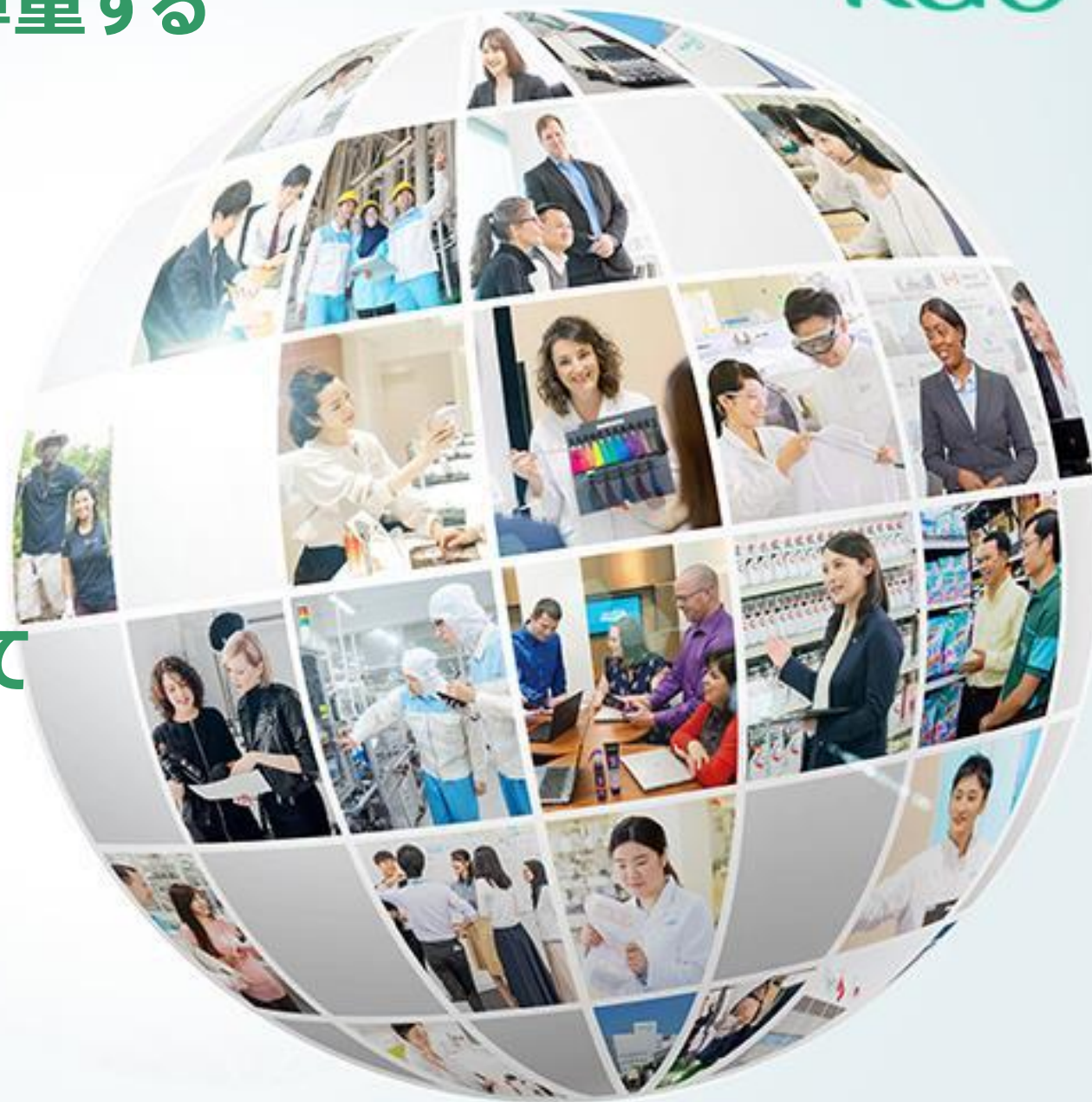
本来、人権の概念は、個々人を尊重することで、その可能性を育む社会を実現するための人類の知恵

(D&E&I、インクルーシブ社会)

また、人権は環境と双方に影響を及ぼしてきています。

花王のKirei Lifestyle Planの実現には、『人権の尊重』なくして成り立ちません。

人権リスクを最小化し、その価値を最大化していきたい。



参考：

- ・花王のESG戦略（Kirei Life Plan）

<https://www.kao.com/jp/corporate/sustainability/>

- ・花王サステナビリティレポート2022

<https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/sustainability2022-all.pdf>

この中で、

人権の尊重

<https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/sustainability2022-27.pdf>

責任ある原料調達

<https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/sustainability2022-18.pdf>

D&I

<https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/sustainability/pdf/sustainability2022-28.pdf>

- ・人権の尊重 － 花王人権方針、英国現代奴隷法声明文、人権レポート（サスレポ抜出）

<https://www.kao.com/jp/corporate/sustainability/topics-you-care-about/humanrights/>

- ・責任ある原材料調達

<https://www.kao.com/jp/corporate/sustainability/topics-you-care-about/procurement/>

An aerial photograph of a large group of children and adults gathered on a green lawn. They are arranged in a circular formation, with their arms raised in the air, creating a vibrant and joyful scene. The children are wearing colorful clothing, and the adults are interspersed among them. The overall atmosphere is one of happiness and community.

Kao

きれいをこころに未来に